

(2)2002年度 環境保全の取り組み

2002年度は環境保全の取り組みの一環として、従来から進めております「資源の削減/フィルムの削減」を更に充実すべく課題として取り組みました。

このフィルム削減に関しては、2000年5月に導入したCTP（Computer to plate）が、その大きな役割を果たし定着してまいりました。

CTPは、従来の印刷工程における製版工程からフィルム作成を削除し、デザイン等の画像処理をするコンピュータから直接印刷機にかける刷版を制作します。

工程上アナログ刷版が得意とする印刷物が、前年を上回ることも、現段階では発生することもあります。このCTPの稼働率を上げる事は、フィルムレスにつながり、資源の削減に反映するものであるとの判断から、CTP化を促進しております。